

平成19年11月22日

ダム守同心情報連絡票(第18号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイヅカ湖に関する情報をお届けするものです。

1. ハイヅカ湖が鳥獣保護区に指定されました。

野鳥の生息地、野鳥の観察や保護活動を通じた環境教育の場としての環境を保全するために、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」に基づき広島県が指定する「鳥獣保護区」にハイヅカ湖が指定されました。

指定された範囲は別紙のとおりです。

鳥獣保護区域内では鳥類と哺乳類の捕獲が禁止されています。

有害鳥獣の駆除や学術研究の目的等のため県知事の許可を得て捕獲することはできます。

お問い合わせ等ある場合は、広島県備北地域事務所農林局林務課へお願いします。

2. 「安全みまもり隊」に登録しました。

三次市広報で吉舎地区子どもの「安全みまもり隊」への登録についての募集記事を見かけました。

灰塚ダム管理支所はダム堤体、ハイヅカ湖など管理区域の巡視を日々行っています。巡視ルートでも、地域の子供たちを見かけることも少なくないため、巡視の中で子供たちの安全について気づくことがあれば、情報提供や注意喚起などを行うことにより多少なりともお役に立てるのではと考え登録をさせていただきました。

巡視にあたっては、その他の地区においても同様に取り組んでいきたいとかがえています。

3. 灰塚ダム諸量

本日のハイヅカ湖への流入水量は毎秒 0.6m³、ダムから下流への放流量は毎秒 1.6m³です。

下流の上下川、馬洗川、江の川本川とも水量が少なくなっているため、ダムに貯留している水を使って毎秒 1m³を補給しています。

ダムに貯留している水量はまだ75%も残っていますので、灰塚ダムの下流においては渇水の心配は今のところありません。

5. 本号の最後に

灰塚ダム管理支所の建物の中にハットウジ(カメムシ)がブンブン飛び回っています。どこから入ってくるのか分かりませんが気がつけば机の上を歩いたりします。

子供のころハットウジが多い年は大雪になると祖母から聞いて、よく当たるのにびっくりしていたことを思い出します。

昨日の朝に庄原市では凍結でスリップ事故が相次いだとの新聞記事も目にしました。

冬への備えをしっかりとしていきたいと思います。

◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

支所長 今岡 俊和 (imaoka-t87mb@cgr.mlit.go.jp)

事務係長 片山 直行

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話:0824-44-4360(代) FAX:0824-44-3544